

第 24 期・第 5 回 法学委員会議事要旨

日時： 2019 年 10 月 16 日（水） 12:00～13:00

会場： 日本学術会議 5・B 会議室

出席者： 亀本洋、佐藤岩夫、白藤博行、高山佳奈子、土井政和、廣瀬真理子、◎松本恒雄、
和田肇（◎は委員長）

欠席者： 高村ゆかり、中谷和弘、糠塚康江、野澤正充、三木浩一、水野紀子、三成美保（以
上、敬称略・五十音順）

議事要旨作成者： 高山佳奈子

議事概要

1 前回議事要旨の確認

第 4 回の議事要旨が確認された。

2 第 25 期会員・連携会員の選考に向けて

法学委員会では 3 年ごとの改選人数が均等でなく、現会員 15 名中 10 名が退任予定である。第 26 期以降の人選をも見据える必要があることから、会員だけでなく連携会員も含めて、候補者をリストアップし、会員・連携会員として推薦する作業が松本委員長より依頼された。

3 日本学術会議法学委員会公開シンポジウム「著作権法上のダウンロード違法化に関する諸問題」について

松本委員長および高山幹事から、2013 年 10 月 13 日に東京大学で開催された標記シンポジウムの報告があった。台風による交通機関の影響があったものの、参加者約 80 名が来場し、各専門分野からの豊富な知見が共有され、アンケートの結果も好評であった。

4 法曹養成・法学研究者養成・法学部教育に関する報告案について

法学部・法科大学院の新たな教育制度がスタートしつつあることから、報告を発出する場合には、従前の制度に基づくアンケートを整理・公表するのではなく、現時点の状況を前提としたものに変える必要がある。そのため、まず新制度をふまえた情報の収集と検討に取り組むことが了承された。

5 各分科会の状況及び対外発信に向けた活動とりまとめについて

（1）佐藤第一部部長より、全体として予算がまだあり、分科会を積極的に開催されたい旨の説明があった。これを受けて、各分科会による意思の表出予定の提出期限である 11 月 14

日をめどに、今年度中の分科会開催見込みを提出するよう、松本委員長から要請があった。

(2) 各分科会より、活動内容が報告された。

6 その他

亀本副委員長より、これまでほぼ隔年で開催されている、基礎法系学会連合と日本学術会議法学委員会とが主催する予定の公開シンポジウム「移動・帰属・アイデンティティ——人の国際的移動と国家の役割——」について説明があり、開催と内容について了承された。

以 上